

外国語活動・外国語（英語）

1 これからの外国語活動・外国語（英語）科教育について

- 小学校外国語活動により、外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親ましながら、コミュニケーション能力の素地を養い、中学校との円滑な接続を図る。
- 「聞くこと」や「読むこと」を通じて得た知識等について、自らの体験や考えなどと結び付けながら活用し、「話すこと」や「書くこと」を通じて発信することが可能となるよう、中学校・高等学校を通じて、4技能を総合的に育成する指導を充実する。
- 「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」及び「書くこと」の4技能の総合的な指導を通して、これらの4技能を統合的に活用できるコミュニケーション能力を育成するとともに、その基礎となる文法をコミュニケーションを支えるものとしてとらえ、文法指導を言語活動と一体的に行うよう改善を図る。
- 中学校における「聞くこと」、「話すこと」という音声面での指導については、小学校段階での外国語活動を通じて、音声面を中心としたコミュニケーションに対する積極的な態度等の一定の素地が育成されることを踏まえ、指導内容の改善を図る。

2 全面実施に向けて、各学校において取組が求められること

小学校

- 推進教員による外国語活動の趣旨の周知徹底
- 校内研修の実施と教員の指導力向上
- 保護者、地域に対する外国語活動の趣旨の周知徹底
- 校内の学習環境の整備
- 中学校外国語科との円滑な接続への配慮

中学校

- 改訂の趣旨や具体的な変更点についての理解
- 改訂の趣旨を踏まえた授業の工夫改善及び年間指導計画の見直し
 - ・ 4技能の総合的な育成
 - ・ 小学校における外国語活動との接続
 - ・ 知識・技能の活用を図る言語活動の充実
 - ・ 語彙の充実
- 小学校における取組状況の把握（小中連携）

高等学校



- 各科目の目標や生徒の実態などを踏まえた上で、身に付けさせたい力を明確にした指導計画と評価計画を作成
- 新学習指導要領の円滑な実施に向けた研究体制の構築
 - ・ 生徒のコミュニケーション能力の向上に資する言語活動の開発
 - ・ 文法を、言語活動と効果的に関連付けて指導する方法の工夫
 - ・ 「授業は英語で行うことを基本とする」ために必要な準備

3 外国語（英語）科における言語活動の充実

- ・ 「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」及び「書くこと」の4技能の総合的な指導を通して、これらの4技能を統合的に活用できるコミュニケーション能力を育成するとともに、その基礎となる文法をコミュニケーションを支えるものとしてとらえ、文法指導を言語活動と一体的に行うよう改善を図る。
- ・ コミュニケーションを内容的に充実したものとすることができるよう、指導すべき語数を充実する。

4 思考力・判断力・表現力等の育成のための授業改善例

【小学校外国語活動 第6学年】

本時の目標 - 世界にはいろいろな国旗や文化、習慣があることを知る。(本時は単元の1時間目)				
学習活動	学級担任(HRT)	ALT	指導上の留意事項	評価規準 (評価方法)
<p>1 あいさつ</p> <p>HRT : Good morning. ALT・児童 : Good morning. HRT : How are you? ALT・児童 : I'm..., thank you. And you? HRT : How is the weather today? What day is it today? 児童 : It's cloudy. It's Friday.</p> <p>2 【歌】  Sing a Rainbow  を歌おう</p> <p>3 今日のめあての確認</p> <p>・ 「今日のめあて」を児童に提示する。</p> <p>世界にはいろいろな国旗や文化、習慣があることを知ろう。</p> <p>4 【国旗当てクイズ】</p> <p>○ 9枚の国旗の絵カードを机の上に並べ、ALTが発音する色や形を聞き取り、国旗を当てる。</p> <p>5 【ビンゴ・ゲーム】</p> <p>○ ビンゴ・ゲームをする。</p> <p>・ ALTが発音する絵カードをビンゴ・シートから取る。</p> <p>・ 縦、横、斜めにカードがなくなったら、「Bingo」と言う。</p> <p>・ 時間内にカードがない列がいくつできたかを答える。</p> <p>6 【ジェスチャー・クイズ】</p> <p>○ 世界のジェスチャーを知る。</p> <p>・ 指導者のジェスチャーを見て、どこの国のジェスチャーか、何を意味するのかを考え、発表する。</p> <p>ことばの力活用POINT 理由を付けて自分の考えを発表させる。また、他者の意見と関連付けて発表させる。</p> <p>7 【チャンツ】</p> <p>○ チャンツを言う。</p> <p>♪I want to go to Italy♪</p> <p>8 本時のまとめ</p> <p>○ ねらいについてどうであったか、振り返りをする。</p>	<p>・ 「今日のめあて」を児童に提示する。</p>	<p>・ 発音する。 Green, white and red. This is Italy. Red and yellow. One big yellow star and four small yellow stars. This is China.</p> <p>・ 発音する。 Italy, China, Japan, Australia, Thailand, America, Brazil France, Korea,</p> <p>How many bingos do you have?</p>	<p>・ 英語で元気に挨拶を交わすことにより、児童に授業の始まりを意識させるようにする。</p> <p>・ 色を指差しながら歌うようにさせる。</p>	<p>教</p> <p>繰り返し聞かせ、日本語とは違った外国語の音声やリズムに慣れさせる。</p> <p>考</p> <p>外国のジェスチャーを知ることを通して、日本のジェスチャーと比較して考えさせる。</p> <p>「言語や文化に対する体験的な理解」 世界にはいろいろな国旗や文化、習慣があることを知る。 (行動観察)</p> <p>表</p> <p>自分の考えを相手に分かりやすく表現させる。</p>
		<p>・ 2人でジェスチャーを見せる。 A: 自分の胸を親指でさす。(アメリカ, 「私」) H: 自分の鼻を人差し指でさす。(日本, 「私」) A: 手のひらを上に向けて4本の指を手前にひらひらさせる。(アメリカ, 「こちらに来て」) H: 手のひらを下に向けて4本の指を上下にひらひらさせる。(日本, 「こちらに来て」) A: ほほに人差し指をあててねじる。(イタリア, 「おいしい」) A: 両手を合わせる。(タイ, 「挨拶, 尊敬」) H: 両手を合わせる。(日本, 「感謝」) A: 首をかしげる。(タイ, 「はい」 “Yes”) H: うなずく。(日本, 「はい」 “Yes”)</p> <p>・ 国によって、1つのことを表すときでもジェスチャーが違うことや、国によってさまざまな文化や習慣があることを確認する。</p> <p>・ ビンゴ・ゲームで紹介した国旗絵カードを使って、どこの国に行きたいかを紹介する。 H: Look. This is China. I want to go to China. ~ sensei, do you want to go to China? A: Yes, I want to go to China. I want to go to America, too. Everyone, do you want to go to America? H: How about Italy, ~ sensei? A: Yes. I want to go to Italy. I want to eat pizza. I want to play soccer. ・ チャンツ ♪I want to go to Italy♪を言う。</p>	<p>・ ゲームを楽しみながら聞くことに集中させ、ビンゴ・シートを作り直しゲームを繰り返し行うなどして、児童にこれらの単語を何度も聞かせるようにする。</p> <p>・ 外国のジェスチャーを紹介することを通して、その国の文化や習慣について知るとともに、日本との共通点や違いに気付かせる。</p> <p>・ なぜそう思ったのかを自分の言葉で発表させる。</p>	<p>・ 次時の意欲につながるように良かったところを具体的に評価する。</p> <p>・ 授業で使用した国旗の絵カードを教室に掲示し、日常的に児童が英語でのコミュニケーションを楽しむ環境を作る。</p>

【中学校 第3学年】

本時の目標 — ペアで「都会と田舎ではどちらに住みたいか」について話し合い、相手の意見について賛否やその理由を書くことができる。

学習活動	指導上の留意事項	評価規準（評価方法）
<p>1 前時の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の学習内容を確認する。 <p>2 本時の学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の目標を理解する。 <p>3 意見交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ペアで「都会と田舎ではどちらに住みたいか」について話し合う。 ○ 1～2ペアに発表させる。 ○ 各ペアで互いの英文を読み合い、相手の意見についての賛否やその理由など、自分の考えを整理する。 <p>4 英作文</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 賛否やその理由など自分の考えを英語で書く。 <div data-bbox="188 1393 512 1659" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ことばの力活用POINT</p> <p>具体的な理由・根拠を明らかにして意見を書かせる。 様々な角度から書かせる。 構成を考えて書かせる。</p> </div> <p>5 交流・発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ペアで互いに書いた英文を読み合い、コメントし、評価し合う。 <p>6 本時のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の目標に照らし合わせ、自己評価カードを記入する。 ○ 家庭学習の指示をする。 ○ 次時の課題を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時にモデル文を基に「都会と田舎ではどちらに住みたいか」について、自分の立場と理由などを英語で書いたワークシートを確認する。 <div data-bbox="576 468 1123 577" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ペアで「都会と田舎ではどちらに住みたいか」について話し合い、相手の話した内容について賛否やその理由を書く。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の立場を明らかにし、結論とその理由や具体例などを伝える。 ・ 大切だと思う語句を強調して言う。 ・ 相手の意見で大切だと思うことを、聞きながらメモする。 ・ 自分の意見との違いや共通点を考えながら相手の意見を聞く。 ・ 話を聞きながらメモをとらせ、聞き取れなかった情報については聞き返させる。 ・ 複数の人の考えを聞くことによって、自分の考えを深めさせる。 ・ 相手の英文で意味の分からない箇所があれば線を引かせ、質問をさせるなどして、相手の意見を正しく理解させる。 ・ 相手の意見と自分の意見とを関連させ、相手の意見との違いや共通点を明らかにして自分の意見を整理させる。 <div data-bbox="576 1211 1134 1458" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ I think や I agree, because などの表現を活用させる。 ・ You said ～. の表現を用いるなどして相手の意見と関連付けて自分の意見を書く。 ・ 相手の意見を踏まえて、賛否のあとに、自分の考えやメリットやデメリットを示すなどして、具体的に理由付けをする。 </div> <div data-bbox="576 1480 1134 1648" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の意見とともにその理由・根拠を書く。 ・ 相手の意見との違いや共通点を明らかにして自分の意見を書く。 ・ 結論先行で、自分の意見を筋道を立てて書く。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 机間指導をし、相手の意見に対して互いにコメントをさせるように支援する。コメントが出にくいペアには、教師が良いところを具体的にコメントして生徒の考えを引き出す。 ・ 教師からの評価を行い、本時の目標の達成状況を確認させる。 ・ 本時を振り返り、5で交流した自分の意見と相手の意見をそれぞれ家でノートに再現するように指示する。 	<div data-bbox="1118 472 1445 808" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-bottom: 20px;"> <p style="text-align: center; color: white; background-color: blue; border-radius: 50%; width: 20px; margin: 0 auto;">教</p> <p>ペアで活動をさせる前に、意見を言うとき、聞くときのポイントを確認する。</p> </div> <div data-bbox="1118 831 1445 1167" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-bottom: 20px;"> <p style="text-align: center; color: white; background-color: blue; border-radius: 50%; width: 20px; margin: 0 auto;">考</p> <p>相手の意見を踏まえ、相手の意見を尊重しながら、自分はどうか考えるか自分の考えを整理させる。</p> </div> <div data-bbox="1118 1211 1445 1458" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;"> <p style="text-align: center; color: white; background-color: blue; border-radius: 50%; width: 20px; margin: 0 auto;">表</p> <p>理由を明らかにして、自分の考えを書かせる。</p> </div> <p>「表現の能力」 聞いたり読んだりしたことについて、感想、賛否やその理由を書くことができる。 (ワークシート)</p>

【高等学校 外国語 英語 I】

本時の目標 — 論説文を読んで、筆者の考えを的確に理解し、自分の考えについて簡潔に書くことができる。

学習活動	指導上の留意事項	評価規準（評価方法）
<p>1 前時の振り返り</p> <p>2 本時の学習内容</p> <p>○ 本時の学習内容を確認する。</p> <p>3 内容理解（英問英答）</p> <p>○ 本時のパートを黙読し、段落毎に与えられた質問に対する答えを各自で探した後で、ペアで解答を確認し、発表する。</p> <p>4 内容理解の深化（話し合いと発表）</p> <p>○ 英問英答の活動を通して確認した内容について4人のグループで話し合う。</p> <p>○ 自分の考えを整理し、2, 3文程度の英語で発表する。</p> <p>5 英作文（自分の考え）</p> <p>○ 黒板に書かれた英文を参考にし、筆者の考えに対する自分の考えを6, 7文で書く。</p> <p>○ ペアで、互いに英文を読み合い、コメントし、評価し合う。</p> <p>6 本時のまとめ</p> <p>○ 評価を行い、目標の達成状況を確認する。</p> <p>○ 次時の課題を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前時の学習内容を想起させる問いを与える。 前時までの学習内容を踏まえて本時の目標を理解させる。 <p>問題提起とその根拠（具体例）、解決案の提示など、各段落の要点を読み取らせるための問いを与える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 解答を導き出すために着目した英文を指摘させ、質問に対する答えとなるように適切な表現で発表させる。 必要に応じてフィードバックを与え、正確に理解できるように支援する。 <p>筆者が伝えなかった内容を自分の言葉で表現し合うとともに、筆者の考えに対する自分の考えを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「筆者は～と述べているが、私は～と考える。その理由は、～だからである。」など、論理展開を意識させ、発表させる。 机間指導により、話し合いを促進する。 第1文「I don't agree to her idea because～」などの表現を活用させる。 生徒の発表へフィードバックを与え、その英文を黒板に整理して書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>ことばの力活用POINT</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 相手や目的に応じて必要な情報を整理して書かせる。 ② 様々な角度から書かせる。 ③ 構成を考えて書かせる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ① 筆者の考えを踏まえているか。 ② 根拠が明確に示されており自分の考えをよく伝えているか。 <ul style="list-style-type: none"> 教師がフィードバック（評価）を与え、目標の達成状況を確認させる。 	<p>教</p> <p>黙読させる前に読み取りのポイントを示す。</p> <p>「理解の能力」 筆者が伝えたい内容や概要を把握している。（行動観察・ワークシート）</p> <p>表 考</p> <p>グループ内で発表する活動を通して、個々の情報の取り出しから文脈全体の理解へと深化させる。</p> <p>「関心・意欲・態度」 自分の考えについて積極的に伝えようとしている。（行動観察）</p> <p>考</p> <p>生徒とのやりとりを通して、個々の情報をつなぎ、板書に整理する。</p> <p>「表現の能力」 筆者の考えを的確に理解し、自分の考えについて簡潔に書くことができる。（ワークシート）</p> <p>表</p> <p>筆者の考えに対する自分の考えを整理して書かせる。</p>